

埼玉県専門研修 プログラムガイドブック

2021

埼玉県の
専門研修
基幹病院 **39**
施設掲載!



〔 研修プログラム制と研修カリキュラム制 〕

新専門医制度において、基本領域の専門研修は、原則、プログラム制での研修が求められています。

研修プログラム制とは、年次ごと（例えば3～5年間）に定められた研修プログラムに則って研修を行う仕組みで、基幹施設が連携施設と研修施設群を作り専攻医は研修施設群の中で循環型の研修を行います。専攻医の研修におけるプログラム上の登録の所属は基幹施設となりますが、給与等は研修場所となる施設で支払われます。ただし、6ヶ月までの中断であれば、残りの期間に必要な症例等を埋め合わせることで、研修期間の延長を要せず、定められた期限内に到達目標が達成できない場合には、年限を延長することも可能となります。

一方、出産、育児、介護等で一時休職しなければならない医師や、海外留学等で長期間、研修を中断しなければならない医師などにも専門医が取れる様に設けられたのが**研修カリキュラム制**となります。研修カリキュラム制は期限の定めを設けずに研修を受け、基準を充足した（必要な単位数を取得した）時点で専門医資格取得を可能とする仕組みのことで、

研修カリキュラム制（単位制）の対象

1. 義務年限を有する医科大学卒業生、地域医療従事者（地域枠医師等）
2. 出産、育児、介護等のライフイベントにより休職、離職を選択する医師
3. 海外・国内留学する医師
4. タブルボードを希望する医師
5. その他領域学会と機構が認めた相当の合理的な理由な場合

〔 基本領域の研修期間 〕

3年間	内科、小児科、精神科、外科、産婦人科、放射線科、病理、臨床検査、救急科、リハビリテーション科、総合診療科
4年間	眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、麻酔科、形成外科、整形外科
5年間	皮膚科

〔 地域別・診療科別のシーリング 〕

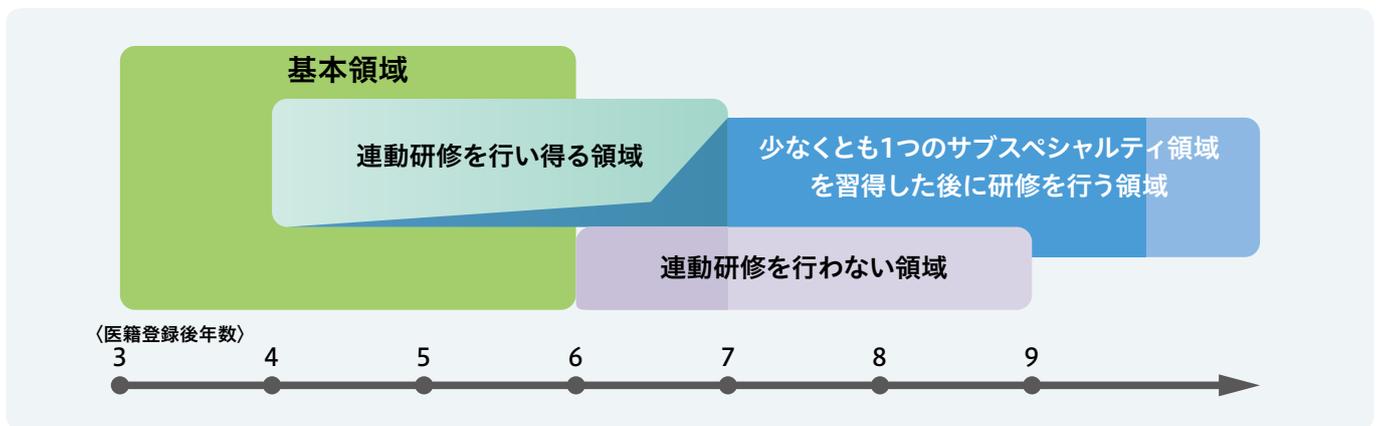
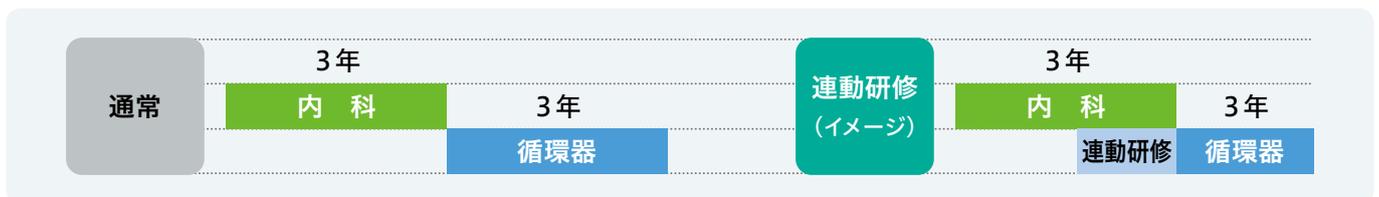
新専門医制度では、医師の地域・診療科偏在の是正を図るため、2019年度よりシーリングが設定されています。2021年度の専攻医登録については、地域別に外科・産婦人科・病理・臨床検査・救急・総合診療科を除く13の基本領域に対して個別のシーリングが設定されている場合があります（埼玉県はシーリングの対象となる基本領域はありません）。ただし、地域枠医師および自治医科大学出身医師はシーリングの枠外での採用が可能となる場合もあります。引き続き、シーリングの基準や内容は見直される予定です。

サブスペシャリティ領域研修と連動研修

新専門医制度では2021年4月よりサブスペシャリティ領域の専門医も認定する予定です。現在、サブスペシャリティ領域が正式に認められている基本領域は内科（消化器内科領域、循環器内科領域、呼吸器内科領域、血液内科領域、内分泌代謝・糖尿病内科領域、脳神経内科領域、腎臓内科領域、膠原病・リウマチ内科領域）外科（消化器外科領域、呼吸器外科領域、心臓血管外科領域、小児外科領域、乳腺外科領域）・放射線科（放射線診断領域、放射線治療領域）で、今後、さらに承認されるサブスペシャリティ領域がある見込みです。

サブスペシャリティ領域専門研修は、「連動研修を行い得る領域」と「連動研修を行わない領域」と「少なくとも1つのサブスペシャリティ領域を修得した後に研修を行う領域」とに大別され、「連動研修を行い得る領域」では基本領域の研修期間中にサブスペシャリティ領域研修を開始する、いわゆる連動研修が認められています。

サブスペシャリティ領域研修は、原則、研修カリキュラム制で行いますが、連動研修については基本領域の研修期間中に開始されるため研修プログラム制で行われます。



参照

- 専門医制度整備指針（第三版）

https://jmsb.or.jp/wp-content/uploads/2020/06/jmsb_mg_ver3_20200630.pdf



- サブスペシャリティ領域専門研修細則

https://jmsb.or.jp/wp-content/uploads/2020/06/subsupe_mg_20200630.pdf



- サブスペシャリティ領域の在り方に関するワーキンググループの報告

<https://www.mhlw.go.jp/content/10803000/000608168.pdf>



※臨床研究医コース

2021年4月から、基本領域の専門医資格を取得後あるいは取得中に、大学院あるいは研究所に所属し、定められた一定期間医学研究に従事する「臨床研究医コース」が設けられます。同コースの募集（枠40人程度）は基本領域の募集に先駆けて実施し、7年間、身分保障が与えられカリキュラム制で行います。

基幹施設一覽

保健医療圏名	病院名	p7	p10	p11	p12	p13	p14	p15
		内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科
南部	① 済生会川口総合病院	●	●				●	
	② 埼玉協同病院	●						
	③ 川口市立医療センター	●	●					
	④ 戸田中央総合病院	●						
南西部	⑤ TMGあさか医療センター							
	⑥ 国立病院機構埼玉病院	●	●					●
東部	⑦ 春日部市立医療センター	●						
	⑧ 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院				●			
	⑨ 南埼玉病院				●			
	⑩ 獨協医科大学埼玉医療センター	●	●	●	●	●	●	●
	⑪ みさと健和病院	●						
	⑫ 草加市立病院	●						
さいたま	⑬ 自治医科大学附属さいたま医療センター	●	●	●		●		●
	⑭ さいたま市立病院	●	●			●		
	⑮ 彩の国東大宮メディカルセンター	●						
	⑯ さいたま赤十字病院	●				●		●
	⑰ 浦和神経サナトリウム				●			
	⑱ 大宮厚生病院				●			
	⑲ さいたま北部医療センター							
	⑳ さいたま市民医療センター		●					
	㉑ 埼玉県立小児医療センター		●					
	㉒ 埼玉メディカルセンター	●					●	
県央	㉓ 上尾中央総合病院	●				●	●	
	㉔ 北里大学メディカルセンター	●					●	
	㉕ 埼玉県立精神医療センター				●			
	㉖ 済生会鴻巣病院				●			
川越比企	㉗ 埼玉医科大学総合医療センター	●	●	●	●	●	●	●
	㉘ 関越病院							
	㉙ 埼玉医科大学病院	●	●	●	●		●	●
西部	㉚ 埼玉石心会病院	●						
	㉛ 埼玉医科大学国際医療センター	●				●		
利根	㉜ 久喜すずのき病院				●			
	㉝ 国立病院機構東埼玉病院							
	㉞ 羽生総合病院							
	㉟ 新久喜総合病院	●				●		
	㊱ 済生会栗橋病院	●						
北部	㊲ 深谷赤十字病院	●						
	㊳ 熊谷生協病院							
秩父	㊴ 秩父市立病院							
合計		23	10	4	10	8	7	6

p16	p17	p18	p18	p19	p19	p21	p22	p22	p24	p24	p25	
眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療科	合計
												3
											●	2
					●			●				4
					●	●						3
					●							1
					●					●	●	6
												1
												1
●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	17
											●	2
												1
●	●			●	●	●		●			●	12
					●							4
					●			●			●	2
					●			●				5
												1
												1
											●	1
											●	2
												1
	●	●			●				●		●	7
		●			●							4
												1
●	●		●		●	●		●	●			14
											●	1
●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	16
											●	2
			●	●	●	●		●				7
												1
											●	1
											●	1
												2
												1
								●			●	3
											●	1
											●	1
4	5	4	3	2	13	6	2	8	3	3	17	138

- 内科
- 小児科
- 皮膚科
- 精神科
- 外科
- 整形外科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 泌尿器科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 病理
- 臨床検査
- 救急科
- 形成外科
- リハビリ
- 総合診療科



- 1 済生会川口総合病院**
〒332-8558 川口市西川口5-11-5 TEL 048-253-1551
- 2 埼玉協同病院**
〒333-0831 川口市木曾呂1317 TEL 0570-00-4771
- 3 川口市立医療センター**
〒333-0833 川口市西新井宿180 TEL 048-287-2525
- 4 戸田中央総合病院**
〒335-0023 戸田市本町1-19-3 TEL 048-442-1111
- 5 TMGあさか医療センター**
〒351-0023 朝霞市溝沼1340-1 TEL 048-466-2055
- 6 国立病院機構埼玉病院**
〒351-0102 和光市諏訪2-1 TEL 048-462-1101
- 7 春日部市立医療センター**
〒344-8588 春日部市中央6-7-1 TEL 048-735-1261
- 8 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院**
〒343-0032 越谷市袋山560 TEL 048-975-0321
- 9 南埼玉病院**
〒343-0012 越谷市増森252 TEL 048-965-1151
- 10 獨協医科大学埼玉医療センター**
〒343-8555 越谷市南越谷2-1-50 TEL 048-965-1111
- 11 みさと健和病院**
〒341-0035 三郷市鷹野4-510-1 TEL 048-955-8551
- 12 草加市立病院**
〒340-8560 草加市草加2-21-1 TEL 048-946-2200
- 13 自治医科大学附属さいたま医療センター**
〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847 TEL 048-647-2111
- 14 さいたま市立病院**
〒336-8522 さいたま市緑区大字三室2460 TEL 048-873-4111
- 15 彩の国東大宮メディカルセンター**
〒331-8577 さいたま市北区土呂町1522 TEL 048-665-6111
- 16 さいたま赤十字病院**
〒330-8553 さいたま市中央区新都心1-5 TEL 048-852-1111
- 17 浦和神経サナトリウム**
〒336-0041 さいたま市南区広ヶ谷戸301-1 TEL 048-873-3115
- 18 大宮厚生病院**
〒337-0024 さいたま市見沼区片柳1 TEL 048-683-1861
- 19 さいたま北部医療センター**
〒331-8625 さいたま市北区宮原町1-851 TEL 048-663-1671
- 20 さいたま市民医療センター**
〒331-0054 さいたま市西区島根299-1 TEL 048-626-0011
- 21 埼玉県立小児医療センター**
〒330-8777 さいたま市中央区新都心1-2 TEL 048-601-2200
- 22 埼玉メディカルセンター**
〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和4-9-3 TEL 048-833-7527

- 23 上尾中央総合病院**
〒362-8588 上尾市柏座1-10-10 TEL 048-773-1111
- 24 北里大学メディカルセンター**
〒364-8501 北本市荒井6-100 TEL 048-593-1212
- 25 埼玉県立精神医療センター**
〒362-0806 北足立郡伊奈町小室818-2 TEL 048-723-1111
- 26 済生会鴻巣病院**
〒365-0073 鴻巣市八幡田849 TEL 048-596-2221
- 27 埼玉医科大学総合医療センター**
〒350-8550 川越市鴨田1981 TEL 049-228-3411
- 28 関越病院**
〒350-2213 鶴ヶ島市脚折145-1 TEL 049-285-3161
- 29 埼玉医科大学病院**
〒350-0495 入間郡毛呂山町毛呂本郷38 TEL 049-276-1111
- 30 埼玉石心会病院**
〒350-1305 狭山市入間川2-37-20 TEL 04-2953-6611
- 31 埼玉医科大学国際医療センター**
〒350-1298 日高市山根1397-1 TEL 042-984-4111
- 32 久喜すずのき病院**
〒346-0024 久喜市北青柳1366-1 TEL 0480-23-6540
- 33 国立病院機構東埼玉病院**
〒349-0196 蓮田市黒浜4147 TEL 048-768-1161
- 34 羽生総合病院**
〒348-8505 羽生市下岩瀬446 TEL 048-562-3000
- 35 新久喜総合病院**
〒346-8530 久喜市上早見418-1 TEL 0480-26-0033
- 36 済生会栗橋病院**
〒349-1105 久喜市小右衛門714-6 TEL 0480-52-3611
- 37 深谷赤十字病院**
〒366-0052 深谷市上柴町西5-8-1 TEL 048-571-1511
- 38 熊谷生協病院**
〒360-0012 熊谷市上之3854 TEL 048-524-3841
- 39 秩父市立病院**
〒368-0025 秩父市桜木町8-9 TEL 0494-23-0611

内科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

内科専門研修基幹施設 23施設

内科医師数 1,061人

内科指導医数 528人

内科総病床数 4,231床



南部



① 済生会川口総合病院

■ 埼玉県済生会川口総合病院内科専門医研修プログラム

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 142床 医師数 38名 指導医数 16名

埼玉県南部医療圏の中心的な急性期病院です。埼玉県内および近隣医療圏にある大学病院と連携し、地域医療からより専門的な内科診療まで、多様な希望に対応した研修が行えます。自分で未来を選択できる病院です。

研修期間 3年
募集人数 5名



南部



② 埼玉協同病院

■ 埼玉協同病院内科専門研修プログラム

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 184床 医師数 22名 指導医数 9名

地域医療の最前線でいかなる患者にも対応できる総合力を身につけ、地域住民や近隣の医療機関・福祉機関と連携し、いつでも誰にでも安全安心な医療の実現に寄与する内科医師の養成を目指します。

研修期間 3年
募集人数 5名



南部



③ 川口市立医療センター

■ 川口市立医療センター専門研修プログラム

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 116床 医師数 25名 指導医数 8名

当院は埼玉県南部医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核です。また、common diseaseの経験や超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療も十分に経験できます。

研修期間 3年
募集人数 5名



南部



④ 戸田中央総合病院

■ 戸田中央総合病院内科専攻医プログラム

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 256床 医師数 38名 指導医数 12名

1都4県に29病院を含む117施設を展開する戸田中央医科グループの基幹病院であり、多くの症例が集まる研修に大変適した病院です。また地域がん診療連携拠点病院や災害拠点病院等多くの認定も受けています。

研修期間 3年
募集人数 5名



南西部



⑥ 国立病院機構埼玉病院

■ 国立病院機構埼玉病院内科専門研修プログラム

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 143床 医師数 26名 指導医数 14名

大学病院3施設、地域の基幹医療施設8施設、ケアミックス病院1施設から成る多彩な施設と連携し、専攻医の将来の進路希望に応じた研修が可能です。また各サブスペシャリティの並行研修が可能です。

研修期間 3年
募集人数 7名



東部



⑦ 春日部市立医療センター

■ 春日部市立医療センター内科専門研修プログラム

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 121床 医師数 18名 指導医数 12名

症例のある時点で経験するだけではなく、主担当医として入院から退院（初診・入院～退院・通院）まで経時的に全人的医療を実践し、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力を修得します。

研修期間 3年
募集人数 3名



- 内科
- 小児科
- 皮膚科
- 精神科
- 外科
- 整形外科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 泌尿器科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 病理
- 臨床検査
- 救急科
- 形成外科
- リハビリ
- 総合診療科

10 獨協医科大学埼玉医療センター ■ 獨協医科大学埼玉医療センター 内科専門医プログラム

研修期間 3年 募集人数 29名

東部

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 233床 医師数 99名 指導医数 43名

当院は首都圏の良好な立地にあり、923床の基幹病院のため症例が豊富です。最先端専門施設から療養型施設まで多くの関連施設を持ち、各内科の全領域においてスムーズで充実した研修が可能です。



11 みさと健和病院 ■ みさと健和病院内科専門研修プログラム

研修期間 3年 募集人数 3名

東部

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 105床 医師数 20名 指導医数 13名

当院は急性期と回復期・慢性期の病棟を併せ持つケアミックス型病院です。主治医として入院～退院・通院まで、診断や治療を通じ、患者さんの全身状態、社会的背景、療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。



12 草加市立病院 ■ 草加市立病院内科専門研修プログラム

研修期間 3年 募集人数 4名

東部

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 196床 医師数 36名 指導医数 21名

当院は埼玉東部医療圏の中心的な急性期病院であり、一人の医師が急性期から慢性期まで幅広い疾患群を数多く経験できます。知識や技能に偏らず全人的な医療を実践できる能力を持つ内科専門医を育成します。



13 自治医科大学附属さいたま医療センター ■ 自治医科大学附属さいたま医療センター内科専門研修プログラム

研修期間 3~4年 募集人数 22名

さいたま

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 186床 医師数 107名 指導医数 40名

診療科横断的な教育プログラムや救急部、地域連携病院へのローテートにより、内科医としての総合力を育成するプログラムになっています。同時に、その他の期間でサブスペ領域の経験を存分に積むことができます。



14 さいたま市立病院 ■ さいたま市立病院内科専門研修プログラム

研修期間 3年 募集人数 12名

さいたま

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 268床 医師数 35名 指導医数 22名

1年目に各サブスペシャリティを2か月単位でローテートします。症例豊富なため経験すべき症例のほぼすべてを習得できます。2年目以降は希望によりサブスペシャリティ研修とオーバーラップしていくことが可能です。



15 彩の国東大宮メディカルセンター ■ 彩の国東大宮メディカルセンター内科専門研修プログラム

研修期間 3年 募集人数 4名

さいたま

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 141床 医師数 21名 指導医数 14名

埼玉県さいたま医療圏および東京都にある連携施設で構成されています。内科診療における基本的な臨床技能を身につけ、サブスペシャリティを学ぶ基礎となる内科領域全般にわたる幅広い診療の習得を目的とします。



16 さいたま赤十字病院 ■ さいたま赤十字病院内科専門研修プログラム

研修期間 3年 募集人数 5名

さいたま

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 226床 医師数 62名 指導医数 41名

7つのサブスペシャリティ領域で、将来を見据えて研修をすることが可能です。在籍する専攻医が多いため研修に関する相談がしやすく、また41名の指導医がいるため内科全体で研修をフォローできる環境です。



22 埼玉メディカルセンター ■ 埼玉メディカルセンター内科専門研修プログラム

研修期間 3年 募集人数 4名

さいたま

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	

病床数 140床 医師数 37名 指導医数 17名

内科全般の症例、一般の手技はほぼ経験でき、地域医療の重要性や血液疾患、総合内科、救急科なども学べます。高度専門病院を選択し研修することもでき、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練されます。





県央

23 上尾中央総合病院

AMG上尾中央総合病院内科専門研修プログラム

研修期間 3~4年
募集人数 6名

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	
病床数	327床	医師数	74名	指導医数	26名			



各領域の専門医の熱心な指導と連携施設の協力で、中身の濃い専門研修を提供し、幅広い疾患に対応できる総合内科的視点を持った診断能力の高い医師の養成を目指しています。



県央

24 北里大学メディカルセンター

北里大学メディカルセンター内科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 5名

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	
病床数	115床	医師数	26名	指導医数	7名			



地域の中核病院としてcommon diseaseの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、大学の附属病院としての先端医療も学ぶことができます。



川越比企

27 埼玉医科大学総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター内科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 20名

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	
病床数	264床	医師数	99名	指導医数	48名			



十分な指導体制と親身なサポート体制のもとで内科領域全般の研修ができます。大学病院と地域密着型の病院としての機能を併せ持ち、先進医療からcommon diseaseまで様々な症例を経験することが可能です。



川越比企

29 埼玉医科大学病院

内科専門医研修プログラム・内科基本コース

研修期間 3年
募集人数 20名

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	
病床数	242床	医師数	117名	指導医数	67名			



総合診療内科、さらに多数のサブスペシャリティ領域の診療科と連携し、極めて自由度の高いプログラムです。多くの関連施設と連携をとっており、多数の疾患を経験する機会があります。ぜひ一度見学に来てください。



西部

30 埼玉石心会病院

埼玉石心会病院内科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 4名

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	
病床数	157床	医師数	31名	指導医数	14名			



内科領域では、多岐にわたる疾患群を経験するための研修は必須です。埼玉石心会病院内科専門研修施設群研修施設は埼玉県西部医療圏、近隣医療圏および離島・へき地医療機関から構成されています。



西部

31 埼玉医科大学国際医療センター

埼玉医科大学国際医療センター内科専門医研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 11名

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	
病床数	284床	医師数	68名	指導医数	49名			



内科専門医研修に加え、心臓や脳、悪性腫瘍の分野で専門性の高いサブスペシャリティ研修が準備されています。県内のみではなく、都内の医療機関が連携施設に含まれ、新しい連携施設を希望することも可能です。



利根

35 新久喜総合病院

新久喜総合病院内科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 3名

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	
病床数	80床	医師数	15名	指導医数	11名			



中規模病院の強みを活かし横断的な研修が行えます。また消化器内科・循環器内科においては内視鏡・心カテの豊富な症例数があり、専攻医1年目から多くの手技を経験・修得できます。



利根

36 済生会栗橋病院

埼玉県済生会栗橋病院内科専門医研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 3名

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	
病床数	164床	医師数	25名	指導医数	11名			



当院は、地域に根ざす第一線の病院であり、豊富な症例に基づいて、各サブスペシャリティ領域の研修ができることはもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療も経験できます。



37 深谷赤十字病院

■ 深谷赤十字病院内科専門研修プログラム

サブ	消化器病	循環器	呼吸器	血液	内分泌代謝科	糖尿病	腎臓	肝臓
スペ	アレルギー	感染症	老年病	神経内科	リウマチ	消化器内視鏡	がん薬物療法	
病床数	141床	医師数	22名	指導医数	13名			

研修期間 3年
募集人数 3名



埼玉県北部に位置し、27の診療科・三次救命救急病院・地域基幹病院として幅広い疾病を経験できます。他科や他職種と連携して多様な症例を安全かつ的確に提供できる治療方針に努めています。

小児科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

小児科専門研修基幹施設 10施設

小児科医師数 378人

小児科指導医数 149人

小児科総病床数 865床





1 済生会川口総合病院

■ 済生会川口総合病院小児科専門研修プログラム

サブ	周産期	新生児	小児循環器	小児神経	小児血液				
病床数	37床	医師数	9名	指導医数	7名	外来数	62名	入院数	26名

研修期間 3年
募集人数 2名



小児科は「小児の総合診療科」として運営されており、症例も変化に富み、幅広く一般小児医療の研修を行うことができます。在宅医療や地域の福祉・保健機関との連携など、先進的な医療も提供しています。



3 川口市立医療センター

■ 川口市立医療センター小児科専門研修プログラム

サブ	周産期	新生児	小児循環器	小児神経	小児血液				
病床数	58床	医師数	23名	指導医数	4名	外来数	141.8名	入院数	42名

研修期間 3年
募集人数 7名



小児科は市周辺地域の救急医療を担い、NICU科は県南東部をカバーする地域周産期母子医療センターの役割をしています。また、救命救急センターやNICU科は、超重症心身障害児の退院後在宅診療もしています。



6 国立病院機構埼玉病院

■ 国立病院機構埼玉病院小児科専門研修プログラム

サブ	周産期	新生児	小児循環器	小児神経	小児血液				
病床数	67床	医師数	17名	指導医数	10名	外来数	127.5名	入院数	30.9名

研修期間 3年
募集人数 3名



当プログラムは大学病院から地域中核病院、NICUから小児科とバランスよく研修ができ、多くの先輩小児科医に臨床から論文投稿まで指導を受けられるという特徴があり、若手が切磋琢磨して成長できる環境です。



10 獨協医科大学埼玉医療センター

■ 獨協医科大学埼玉医療センター(小児科)専門医養成プログラム

サブ	周産期	新生児	小児循環器	小児神経	小児血液				
病床数	45床	医師数	19名	指導医数	10名	外来数	79名	入院数	29名

研修期間 3年
募集人数 5名



小児科に必要なすべての分野の専門医がいます。上級医から若手まで垣根がなく明るい雰囲気です。研修できます。外科疾患も子どもをみられる医師がそろっており小児病棟で連携良く診療しています。



13 自治医科大学附属さいたま医療センター

■ 自治医科大学附属さいたま医療センター小児科専門研修プログラム

サブ	周産期	新生児	小児循環器	小児神経	小児血液				
病床数	34床	医師数	19名	指導医数	9名	外来数	36名	入院数	33名

研修期間 3年
募集人数 5名



さいたま市の2次救急輪番病院であり、地域周産期センターも有しているので、小児救急患者の対応や周産期医学の研修ができます。また、積極的に超音波診断を行っているため、その基本的手技が学べます。

さいたま市立病院 ■ **さいたま市立病院小児科専門研修プログラム** 研修期間 **3年**
募集人数 **3名**

サブスペ **周産期** **新生児** **小児循環器** **小児神経** **小児血液**

病床数 **73床** 医師数 **22名** 指導医数 **10名** 外来数 **88名** 入院数 **50名**

10名の小児科指導医、多くのサブスペシャリティ領域の専門医がいます。一般小児急性疾患を中心に、新生児医療から移行期医療まで幅広い分野の症例を数多く経験し、専門的な指導を受けることができます。



さいたま市民医療センター ■ **さいたま市民医療センター小児科専門研修プログラム** 研修期間 **3年**
募集人数 **2名**

サブスペ **周産期** **新生児** **小児循環器** **小児神経** **小児血液**

病床数 **54床** 医師数 **12名** 指導医数 **3名** 外来数 **61.1名** 入院数 **22.7名**

さいたま市（人口130万人）の小児救急搬送の約50%に対応し、地域密着の総合医としての小児科医や、食物アレルギーのような小児アレルギー疾患に興味がある方にとって、独自性のある有益なプログラムです。



埼玉県立小児医療センター ■ **埼玉県立小児医療センター小児科専門研修プログラム** 研修期間 **3年**
募集人数 **5名**

サブスペ **周産期** **新生児** **小児循環器** **小児神経** **小児血液**

病床数 **316床** 医師数 **182名** 指導医数 **62名** 外来数 **585名** 入院数 **21名**

本プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的とし、一定の専門領域に偏ることなく、幅広く研修します。



川越比企 **埼玉医科大学総合医療センター** ■ **埼玉医科大学総合医療センター小児科専門研修プログラム** 研修期間 **3年**
募集人数 **9名**

サブスペ **周産期** **新生児** **小児循環器** **小児神経** **小児血液**

病床数 **123床** 医師数 **44名** 指導医数 **23名** 外来数 **約80名** 入院数 **約90名**

総合周産期母子医療センター、小児集中治療部門、重度心身障害児入所施設での研修を含んでいることが特徴で、一般小児疾患から周産期、重症対応など、豊富な症例に対応し幅広い研修が行えます。



川越比企 **埼玉医科大学病院** ■ **小児科専門研修プログラム** 研修期間 **3年**
募集人数 **7名**

サブスペ **周産期** **新生児** **小児循環器** **小児神経** **小児血液** ※内分泌・代謝、腎臓、アレルギーも

病床数 **58床** 医師数 **31名** 指導医数 **11名** 外来数 **80名** 入院数 **51名**

当院は大学病院と地域基幹病院の両面があり、common diseaseから内分泌・代謝、アレルギー、神経、腎臓、NICUなど専門分野まで幅広く研修できます。小児科医の1st stepに最適な環境です。



皮膚科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

- 皮膚科専門研修基幹施設 **4施設**
- 皮膚科医師数 **53人**
- 皮膚科指導医数 **16人**
- 皮膚科総病床数 **46床**



東部 **獨協医科大学埼玉医療センター** ■ **獨協医科大学埼玉医療センター皮膚科専門研修プログラム** 研修期間 **5年**
募集人数 **4名**

サブスペ **美容外科** **皮膚悪性腫瘍** **アレルギー** **リウマチ** **感染症**

病床数 **各科混合病棟** 医師数 **17名** 指導医数 **5名** 外来数 **85名** 入院数 **19名**

当科では、多彩な皮膚疾患を診療しており、外来診療で求められるcommon skin diseaseへの対応から、重症・難治性皮膚疾患の治療、皮膚覚醒腫瘍手術まで幅広く研修することが可能です。



さいたま **自治医科大学附属さいたま医療センター** ■ **自治医科大学附属さいたま医療センター皮膚科専門研修プログラム** 研修期間 **5年**
募集人数 **2名**

サブスペ **美容外科** **皮膚悪性腫瘍** **アレルギー** **リウマチ** **感染症**

病床数 **9床** 医師数 **7名** 指導医数 **2名** 外来数 **101.9名** 入院数 **9.1名**

医局員の人数は少なく症例は豊富なので皮膚科としてはかなり忙しいです。手術は形成外科ローテーション、一般的な疾患は関連病院への派遣などで補い、多岐にわたる皮膚科研修をバランスよく行います。



- 内科
- 小児科
- 皮膚科
- 精神科
- 外科
- 整形外科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 泌尿器科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 病理
- 臨床検査
- 救急科
- 形成外科
- リハビリ
- 総合診療科



川越比企

27 埼玉医科大学総合医療センター

■ 埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科専門研修プログラム

サブスペ: 美容外科 皮膚悪性腫瘍 アレルギー リウマチ 感染症

病床数 18床 医師数 13名 指導医数 4名 外来数 108.8名 入院数 14.9名

埼玉県の中幹病院として近隣の皮膚科医あるいは他科医からの紹介による重症・治療困難な症例が多く、豊富な経験を積む事が可能です。病診連携、他科連携にも力を入れており、多くの勉強会を運営しています。

研修期間 5年
募集人数 4名





川越比企

29 埼玉医科大学病院

■ 皮膚科研修プログラム

サブスペ: 美容外科 皮膚悪性腫瘍 アレルギー リウマチ 感染症

病床数 19床 医師数 16名 指導医数 5名 外来数 89名 入院数 16名

皮膚疾患の基本的知識技術を習得し、指導医のもとで診察、検査、手術手技を学ぶ機会が多いです。専門性の高い疾患の診断・治療の研修も行います。症例発表、学会、外来、病棟研修を経て、総合的な診療力の育成をめざします。

研修期間 5年
募集人数 6名



精神科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

精神科専門研修基幹施設 10施設

精神科医師数 177人
精神科指導医数 64人
精神科総病床数 2,084床





東部

8 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

■ 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 精神科専門医研修プログラム

病床数 226床 医師数 18名 指導医数 6名 外来数 307名 入院数 213名

検査数 外来/年間 F0: 1,342件、F1: 142件、F2: 594件、F3: 2,259件、他

内因性精神病を中心に症例を経験可能です。パニック障害、老年期うつ病等特色ある専門外来を行い、精神疾患症例のリハビリも研修可能です。修正型電気けいれん療法を麻酔科医と行います。救急症例、措置入院症例も経験可能です。

研修期間 3年
募集人数 10名





東部

9 南埼玉病院

■ 南埼玉病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

病床数 230床 医師数 11名 指導医数 8名 外来数 76名 入院数 211名

検査数 (外来/入院) F2: (181件/309件) F3: (390件/145件) 他

民間精神科病院が基幹施設である本プログラムは、我が国の精神科病床のほとんどが民間精神科病院である現実に即し、地域社会に根ざした臨床実践的な内容のプログラムを目指しています。

研修期間 3年
募集人数 1名





東部

10 獨協医科大学埼玉医療センター

■ 獨協医科大学埼玉医療センター 連携施設・精神科専門医研修プログラム

病床数 — 医師数 8名 指導医数 3名 外来数 47名 入院数 —

検査数 うつ病・双極性障害圏: 2,400件、器質・認知症圏: 1,400件、発達障害圏: 900件 他

精神療法のできる精神科医を育成します。症例検討会を毎日開催します。きめ細かい指導で、患者の個性に応じた面接法を習得します。目標は症状と生活を診て、柔軟に力強く患者を支援できる精神科医です。他科・他学部からの転向者歓迎します。

研修期間 3年
募集人数 3名





さいたま

17 浦和神経サナトリウム

■ 浦和神経サナトリウム精神科専門プログラム

病床数 265床 医師数 9.5名 指導医数 3名 外来数 105.2名 入院数 255.5名

検査数 年間初診数500人前後、新入院数350-400人程度、統合失調症、躁うつ病、うつ病など。

精神科の急性期、慢性期の入院、外来の症例を多数経験できます。特に他の職種との連携、チーム医療を学習します。また、精神科産業医業務の技術の習得、精神保健指定医資格の取得も目指します。

研修期間 3年
募集人数 2名





さいたま

18 大宮厚生病院

■ 大宮厚生病院精神科専門研修プログラム

病床数 281床 医師数 24名 指導医数 10名 外来数 164名 入院数 231名

検査数 主な外来・入院症例数(年間): 統合失調症1,815 気分障害1,332 神経症性障害等313

地域の精神科関連諸施設との連携による地域包括ケアの中で研修を実施するとともに、近郊の大学病院・公立病院および東京都内病院を連携施設として、精神科医療全般を各施設の経験豊富な指導医により指導します。

研修期間 3年
募集人数 2名



25 埼玉県立精神医療センター ■ 埼玉県立精神医療センター精神科専門医研修プログラム

研修期間 3年 募集人数 2名

病床数 183床 医師数 20名 指導医数 9名 外来数 122.9名 入院数 151.8名

検査数 初診外来数 F1:339名/年、F2:150名/年、F9:42名/年 措置入院 86名/年

埼玉県唯一の公立精神科病院として、急性期、依存症、児童思春期、医療観察法等多職種チーム医療を基本とした高度専門医療を学べます。連携施設の大学病院では、総合病院精神科や学問的視野からの研修が可能です。



26 済生会鴻巣病院 ■ 埼玉県済生会鴻巣病院精神科研修プログラム

研修期間 3年 募集人数 2名

病床数 379床 医師数 20名 指導医数 6名 外来数 129.2名 入院数 335.1名

検査数 主な入院症例数(年間) 統合失調症307/気分障害233/認知症98 別に措置入院320

埼玉県済生会鴻巣病院精神科研修プログラムは、埼玉県の中央部において中核的な役割を持ち、かつ済生会の一員として公的病院の役割を有する単科精神科病院が基幹施設となって行うプログラムです。



27 埼玉医科大学総合医療センター ■ 埼玉医科大学総合医療センター精神科専門医研修プログラム

研修期間 3年 募集人数 5名

病床数 — 医師数 10名 指導医数 5名 外来数 92名 入院数 —

検査数 薬物療法、リエゾン、認知行動療法、EMDR等

埼玉医科大学総合医療センター(埼玉県川越市)と12の連携施設からなるプログラムです。3年間のうちの1年間は入院設備のある連携施設で研修します。専攻医の志向に合わせた自由度の高いプログラムです。



29 埼玉医科大学病院 ■ 精神科領域専門医研修プログラム

研修期間 3年 募集人数 10名

病床数 78床 医師数 20名 指導医数 6名 外来数 133名 入院数 65名

検査数 神経症圏、統合失調症圏、気分障害圏、発達障害等

スーパー救急、身体合併症24時間対応施設など、地域の最後の砦として、能動的な気概を持って日夜奮闘しています。この姿勢が、当科における診療の広さ、そして表面的に流されぬ深さに繋がっています。



32 久喜すずのき病院 ■ 久喜すずのき病院連携施設精神科専門医研修プログラム

研修期間 3年 募集人数 6名

病床数 442床 医師数 35.6名 指導医数 8名 外来数 413.7名 入院数 424.3名

検査数 入院症例数1,892、統合失調症431、アルツハイマー型認知症366、うつ病335(2019年)

地域における中核的な精神科病院、大学附属病院や中核的な総合病院で研修を実施し、精神科救急医療、認知症治療、リエゾン、治療抵抗性統合失調症に対するクロザピン治療、修正型電気療法について学ぶことができます。



外科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

外科専門研修基幹施設 8施設

外科医師数 288人

外科指導医数 156人

外科総病床数 1,057床



10 獨協医科大学埼玉医療センター ■ 獨協医科大学埼玉医療センター-外科専門医養成プログラム(サブスペシャリティ連動型)

研修期間 3年 募集人数 10名

サブスペ 消化器外科 呼吸器外科 心血管外科 小児外科 乳腺 内分泌外科

病床数 152床 医師数 41名 指導医数 19名 外来数 165名 入院数 103名

都内の基幹病院から埼玉県東部地区の地域医療病院まで様々な連携施設が登録されており、各専攻医の希望に応じた研修が可能です。外科専門医取得に必要な術者件数は基幹施設だけで十分充足できます。



13 自治医科大学附属さいたま医療センター ■ 自治医科大学附属さいたま医療センター-外科専門医研修プログラム

研修期間 3年 募集人数 10名

サブスペ 消化器外科 呼吸器外科 心血管外科 小児外科 乳腺 内分泌外科

病床数 138床 医師数 44名 指導医数 23名 外来数 226名 入院数 147名

基幹施設(当院)と20か所の連携施設で、3年間NCD登録数9,981例、専門研修指導医33名。サブスペシャリティ領域(消化器、心血管、呼吸器、小児)専門医取得コース、大学院連動コースの選択が可能です。



- 内科
- 小児科
- 皮膚科
- 精神科
- 外科
- 整形外科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 泌尿器科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 病理
- 臨床検査
- 救急科
- 形成外科
- リハビリ
- 総合診療科



さいたま

14 さいたま市立病院

■ さいたま市立病院外科専門研修プログラム

サブスペ 消化器外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 乳腺 内分泌外科

病床数 78床
医師数 22名
指導医数 13名
外来数 96名
入院数 60名

当院は2019年12月に新病院が開院し、快適な環境で研修を受けられます。政令指定都市の中核病院であり、外科各分野が揃い、手術件数は年間1,400例を超え、当プログラムのみで外科専門医資格取得が可能です。

研修期間 3年
募集人数 2名





さいたま

16 さいたま赤十字病院

■ さいたま赤十字病院外科専門研修プログラム

サブスペ 消化器外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 乳腺 内分泌外科

病床数 176床
医師数 27名
指導医数 16名
外来数 151名
入院数 84名

4つのサブスペシャリティ領域で、将来を見据えて専門的に研修することが可能であり、専攻医が積極的に経験できる手技も多いです。また小児症例は隣接する埼玉県立小児医療センターで専門的な経験を積むことができます。

研修期間 3年
募集人数 2名





県央

23 上尾中央総合病院

■ AMG外科専門研修プログラム

サブスペ 消化器外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 乳腺 内分泌外科

病床数 70床
医師数 28名
指導医数 14名
外来数 96名
入院数 70名

3年間の各年次に習得すべき術式と必要な症例数を設定しています。腹腔鏡下の手術や開腹手術、その他の手術に至るまで様々な手技を正しく身につけることができるプログラムとなっています。

研修期間 3年
募集人数 2名





川越比企

27 埼玉医科大学総合医療センター

■ 埼玉医科大学総合医療センター外科専門研修プログラム

サブスペ 消化器外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 乳腺 内分泌外科

病床数 141床
医師数 51名
指導医数 34名
外来数 —
入院数 —

高度救命、周産期センターの併設、高度型がん拠点病院等、県内屈指のSuper general hospitalです。19の連携施設を有し、悪性腫瘍のほか良性・救急疾患症例も豊富で多種多様な経験が可能です。

研修期間 3年
募集人数 30名





西部

31 埼玉医科大学国際医療センター

■ 埼玉医科大学外科専門研修プログラム

サブスペ 消化器外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 乳腺 内分泌外科

病床数 241床
医師数 60名
指導医数 30名
外来数 315名
入院数 234名

高度専門医療を行う国際医療センターと特定機能病院の大学病院の二つが基幹病院として機能し、全ての領域で多くの症例を経験可能で、ジェネラルな外科医から高度専門分野を目指す場合のどちらにも対応できます。

研修期間 3年
募集人数 11名





利根

35 新久喜総合病院

■ 新久喜総合病院外科専門研修プログラム

サブスペ 消化器外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 乳腺 内分泌外科

病床数 61床
医師数 15名
指導医数 7名
外来数 77.3名
入院数 60.8名

救急搬入件数が多い当院では、外科の各領域においても幅広い症例があります。必要な症例を経験する、基本的診療能力を習得する、更に希望する各専門領域を深く経験することもできます。

研修期間 3年
募集人数 若干名



整形外科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

- 整形外科専門研修基幹施設 7施設
- 整形外科医師数 109人
- 整形外科指導医数 54人
- 整形外科総病床数 369床





南部

1 済生会川口総合病院

■ 埼玉県南部整形外科専門研修プログラム

サブスペ 脊髄脊椎外科 手外科 リウマチ

病床数 65床
医師数 12名
指導医数 9名
外来数 127名
入院数 58名

東京医科歯科大学と県内南部の外傷・膝関節・スポーツ・股関節・骨軟部腫瘍などの専門病院と連携し、バランスよく高度な専門領域が研修できます。ぜひ一緒に頑張りましょう。

研修期間 4年
募集人数 3名



10 獨協医科大学埼玉医療センター ■ 獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科専門医養成プログラム

研修期間 4年
募集人数 4名

サブスペ 脊髄脊椎外科 手外科 リウマチ

病床数 35床 医師数 20名 指導医数 6名 外来数 122名 入院数 54名

関節・脊髄2つのグループに分かれ、全領域を研修可能です。特に足の外科領域は症例も多く、国民の運動器の健全な発育と健康維持へ貢献する、安全で質の高い運動器医療を提供できる専門医を育成します。



22 埼玉メディカルセンター ■ JCHO埼玉メディカルセンター 整形外科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 3名

サブスペ 脊髄脊椎外科 手外科 リウマチ

病床数 56床 医師数 7名 指導医数 5名 外来数 130.1名 入院数 56.1名

高齢化社会に即した医療を中心に他科と連携したチーム医療・地域医療、特に包括的な医療を担えるように育成します。特色を持った連携施設でプライマリ・ケアから最先端の臨床・研究までを偏りなく学ぶことができます。



23 上尾中央総合病院 ■ 上尾中央総合病院整形外科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 3名

サブスペ 脊髄脊椎外科 手外科 リウマチ

病床数 85床 医師数 11名 指導医数 6名 外来数 217名 入院数 81名

帝京大学医学部附属病院と連携しながら、地域医療に貢献できるプライマリ・ケアから療養・介護を含む老人医療を担える、また幅広い視野を持ち包括的な医療を担えるような整形外科医の養成を目指します。



24 北里大学メディカルセンター ■ 北里大学メディカルセンター整形外科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 6名

サブスペ 脊髄脊椎外科 手外科 リウマチ

病床数 32床 医師数 5名 指導医数 3名 外来数 35.5名 入院数 44.1名

医師として必要な一般的な臨床能力の習得をはじめ、運動器疾患全般に対して具体的に実践できる診療能力を習得することができます。また専門性の高い診断技術と治療方法を見聞することができます。



27 埼玉医科大学総合医療センター ■ 埼玉医科大学総合医療センター 整形外科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 8名

サブスペ 脊髄脊椎外科 手外科 リウマチ

病床数 41床 医師数 24名 指導医数 11名 外来数 — 入院数 —

整形外科領域において幅広い研修が可能ですが、当センターの高度救命救急センターは世界的レベル、恐らく国内最大規模の外傷センターです。そのため外傷に強い整形外科医の育成を特徴としています。



29 埼玉医科大学病院 ■ 埼玉医科大学整形外科学専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 8名

サブスペ 脊髄脊椎外科 手外科 リウマチ

病床数 55床 医師数 30名 指導医数 14名 外来数 132名 入院数 60名

脊椎、股関節、肩・膝関節・スポーツ医学、手外科、足の外科、小児整形外科、リウマチ、救急外傷などの診療グループがあり、幅広い研修ができます。専門医取得後もサブスペシャリティ領域の研修も可能です。



産婦人科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

- 産婦人科専門研修基幹施設 6施設
- 産婦人科医師数 116人
- 産婦人科指導医数 34人
- 産婦人科総病床数 367床



6 国立病院機構埼玉病院 ■ 国立病院機構埼玉病院産婦人科 専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 4名

病床数 59床 医師数 16名 指導医数 3名 外来数 95名 入院数 35名

検査数 分娩537件、良性婦人科手術343件（内視鏡手術244件を含む）、婦人科浸潤癌手術65件

婦人科腫瘍指導医、周産期指導医、内視鏡技術認定医、超音波専門医、がん治療認定医、細胞診専門医、女性医学専門医が常勤しており、婦人科腫瘍、周産期、女性医学の領域をバランスよく研修できます。



- 内科
- 小児科
- 皮膚科
- 精神科
- 外科
- 整形外科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 泌尿器科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 病理
- 臨床検査
- 救急科
- 形成外科
- リハビリ
- 総合診療科

10 獨協医科大学埼玉医療センター ■ 獨協医科大学埼玉医療センター産婦人科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 5名

床位数 65床 医師数 20名 指導医数 5名 外来数 85名 入院数 40名

検査数 年間分娩数：430件、産科手術数：234件、婦人科手術数：661件

当院産科婦人科と均衡連携施設で研修することで、婦人科腫瘍、周産期、生殖・内分泌、女性のヘルスケアの4領域を万遍なく経験、学習できます。最短（卒後6年目）での専門医取得率は、現在100%です。



13 自治医科大学附属さいたま医療センター ■ 自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 若干名

床位数 39床 医師数 12名 指導医数 7名 外来数 39.8名 入院数 33.7名

検査数 出産数479、合併症8割強、帝切217、婦人科手術300強、腹腔鏡150強（悪性も腹腔鏡で）

少人数のため、他施設より実践的なプログラムとなっています。手術・腹腔鏡も早くに執刀し、超音波等もできるようになる、即戦力養成プログラムです。連携施設派遣を希望に合わせて行えるのも魅力です。



16 さいたま赤十字病院 ■ さいたま赤十字病院産婦人科研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 4名

床位数 52床 医師数 14名 指導医数 5名 外来数 115名 入院数 49名

検査数 分娩数1,121件、帝王切開392件、開腹手術199件、腹腔鏡手術68件

当院は総合周産期母子医療センターに指定されており、また他の医療機関と連携を図った診療実践のため、多くの症例経験が可能です。指導医もベテランから若手が揃うため、診療科全体で研修をサポートする環境です。



27 埼玉医科大学総合医療センター ■ 埼玉医科大学総合医療センター産婦人科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 5名

床位数 105床 医師数 33名 指導医数 8名 外来数 159名 入院数 84.4名

検査数 分娩数961（帝王切開540）、婦人科手術数860（腹腔鏡463）、IVF-ET201

我が国最大の総合周産期母子医療センターを有し、県から母体救命コントロール事業も委託されています。周産期研修施設であるばかりでなく、腫瘍専門医、生殖専門医の研修施設認定を受けています。



29 埼玉医科大学病院 ■ 産婦人科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 6名

床位数 47床 医師数 21名 指導医数 6名 外来数 87名 入院数 48名

検査数 分娩数：590件、帝王切開術：259件、婦人科良性手術：352件、内視鏡手術：222件

当院は、周産期・婦人科腫瘍・生殖・女性ヘルスケア・超音波医学・臨床遺伝の全領域の専門医を擁し高度医療まで幅広く研修でき、同時に地域唯一の産婦人科診療施設としてプライマリ・ケアも研修できます。



眼科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

- 眼科専門研修基幹施設 4施設
- 眼科医師数 55人
- 眼科指導医数 21人
- 眼科総病床数 118床



10 獨協医科大学埼玉医療センター ■ 獨協医科大学埼玉医療センター眼科専門医養成プログラム

研修期間 4年
募集人数 4名

床位数 45床 医師数 17名 指導医数 6名 外来数 180名 入院数 29名

検査数 年間手術件数：3,748件（白内障手術：1,919件、硝子体内注射：2,230件 他）

当医局の特長として、幅広い領域で多くの症例を経験できます。医局セミナー・症例検討会等を通して知識の向上を図るとともに、手術教育に力を入れています。また、社会人大学院が併設されており、学位取得も可能です。



13 自治医科大学附属さいたま医療センター ■ 2021年(令和3年)度 自治医科大学附属さいたま医療センター眼科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 3名

床位数 17床 医師数 11名 指導医数 6名 外来数 85名 入院数 14名

検査数 白内障手術：601件/年、硝子体手術：287件/年、バックリング手術：10件/年

一般眼科学に精通し、手術を含めた専門性の高い眼科治療にも対応し、将来地域で活躍できる眼科医の育成を目指します。





27 埼玉医科大学総合医療センター

■ 埼玉医科大学総合医療センター
眼科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 3名

病床数 16床 医師数 9名 指導医数 4名 外来数 90名 入院数 12名
検査数 白内障手術858件、入院手術1,196件、外来手術429件、網膜硝子体手術242件など



眼球と眼付属器に関するあらゆる疾患の病態の把握、正しい診断、適切な治療を行います。クルズスによる知識の習得と抄読会により科学的な思考を臨床に活かします。



29 埼玉医科大学病院

■ 眼科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 6名

病床数 40床 医師数 18名 指導医数 5名 外来数 97名 入院数 40名
検査数 白内障手術2,048件、硝子体手術796件、涙道手術83件、角膜移植14件、緑内障手術161件



アイセンターとして専用手術室を有し多職種スタッフが眼科専属なので、チーム医療を学ぶことができます。そして広い専門分野にわたるmedicalおよびsurgical眼科の実践診療を習得していただけます。

耳鼻咽喉科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

耳鼻咽喉科専門研修基幹施設 5施設

耳鼻咽喉科医師数 67人

耳鼻咽喉科指導医数 26人

耳鼻咽喉科総病床数 128床



10 獨協医科大学埼玉医療センター

■ 獨協医科大学埼玉医療センター
耳鼻咽喉科専門医養成プログラム

研修期間 4年
募集人数 4名

病床数 45床 医師数 15名 指導医数 4名 外来数 115名 入院数 43名



今年度より開始された耳科および鼻科手術指導医制度の認可研修施設となりましたので、研修プログラム期間中も当科で手術経験を積むことにより、手術指導医の認定に必要な手術件数を取得できます。



13 自治医科大学附属さいたま医療センター

■ 自治医科大学附属さいたま医療センター
耳鼻咽喉科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 4名

病床数 16床 医師数 8名 指導医数 4名 外来数 73名 入院数 13名



4年間を通じて耳科、鼻科、頭頸部がんなど耳鼻咽喉科領域全般にわたり多くの症例数が経験でき、また手術指導医につながる質の高い研修が可能です。



23 上尾中央総合病院

■ AMG耳鼻咽喉科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 3名

病床数 30床 医師数 16名 指導医数 8名 外来数 106名 入院数 30名



地域の耳鼻咽喉科、頭頸部外科診療の中核病院として幅広い疾患に対応し、当院では高度な手術手技を含めた実践力、大学病院では基本的な臨床知識と手技、関連市中病院では主治医として独り立ちする機会となります。



27 埼玉医科大学総合医療センター

■ 埼玉医科大学総合医療センター
耳鼻咽喉科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 3名

病床数 20床 医師数 14名 指導医数 4名 外来数 90.6名 入院数 20.6名



当プログラムでは、神経耳科疾患から頭頸部外科領域まで幅広く、かつ多くの症例を経験していただくことができるので、当科のすべての領域に精通する「スーパー耳鼻咽喉科・頭頸部外科医」を目指します。



29 埼玉医科大学病院

■ 耳鼻咽喉科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 4名

病床数 17床 医師数 14名 指導医数 6名 外来数 75名 入院数 18名



都内の国立国際医療センター、日高の埼玉医科大学国際医療センターのがん・心臓病・救急センターとの連携もしており幅広い研修が行えます。国内有数の手術件数を経験できます。

泌尿器科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

泌尿器科専門研修基幹施設 4施設

泌尿器科医師数 37人

泌尿器科指導医数 21人

泌尿器科総病床数 124床



東部



10 獨協医科大学埼玉医療センター ■ 獨協医科大学埼玉医療センター泌尿器科専門研修施設群専門研修プログラム

サブスペ: 生殖医療, 透析, 超音波, 感染症

病床数 45床 | 医師数 15名 | 指導医数 9名 | 外来数 114名 | 入院数 37名

100万人以上の医療圏のトップである当院は、埼玉県東部地域で唯一の泌尿器科研修ができる病院です。悪性腫瘍だけでなく、排尿機能、結石、男性不妊症、腎移植など泌尿器科全ての疾患を学ぶことが可能です。

研修期間 4年
募集人数 4名



県央



23 上尾中央総合病院 ■ AMG泌尿器科専門研修プログラム

サブスペ: 生殖医療, 透析, 超音波, 感染症

病床数 34床 | 医師数 10名 | 指導医数 7名 | 外来数 92名 | 入院数 31名

救急疾患を含む泌尿器科領域全般の診療を学ぶことができます。悪性腫瘍・前立腺肥大症・尿路結石の症例が豊富で、特にロボット手術の症例数は全国屈指です。より実践的な知識と技能を身につけることができます。

研修期間 4年
募集人数 1名



県央



24 北里大学メディカルセンター ■ 北里大学メディカルセンター泌尿器科専門研修プログラム

サブスペ: 生殖医療, 透析, 超音波, 感染症

病床数 30床 | 医師数 4名 | 指導医数 2名 | 外来数 73名 | 入院数 21.2名

泌尿器悪性腫瘍、尿路結石や前立腺肥大症などの泌尿器良性疾患を深く習得するとともに、低侵襲医療を含む先進医療を学ぶことができます。

研修期間 4年
募集人数 5名



川越比企



29 埼玉医科大学病院 ■ 3病院泌尿器科専門研修施設群専門研修プログラム

サブスペ: 生殖医療, 透析, 超音波, 感染症

病床数 15床 | 医師数 8名 | 指導医数 3名 | 外来数 64名 | 入院数 20名

埼玉医大グループである埼玉医大3病院（大学病院、総合医療センター、国際医療センター）が合同で、プログラムを作成しているのが特徴です。多くの症例を経験できる充実したプログラムであります。

研修期間 4年
募集人数 8名



脳神経外科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

脳神経外科専門研修基幹施設 3施設

脳神経外科医師数 46人

脳神経外科指導医数 24人

脳神経外科総病床数 225床



東部



10 獨協医科大学埼玉医療センター ■ 獨協医科大学埼玉医療センター脳神経外科

病床数 54床 | 医師数 12名 | 指導医数 7名 | 外来数 34名 | 入院数 44名

検査数 年間手術数：635件、脳腫瘍：90件、脳血管内治療：220件、脳動脈瘤：120件

150万人の人口をバックグラウンドにして、数多くの患者さんの治療を行っています。特に開頭手術と脳血管内治療の両方を同時に研修できるので、全ての研修医がダブルライセンスを取得しています。

研修期間 4年
募集人数 3名





川越比企

27 埼玉医科大学総合医療センター

埼玉医科大学総合医療センター
脳神経外科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 4名

病床数 44床 医師数 11名 指導医数 7名 外来数 50名 入院数 44名
検査数 手術実数560、腫瘍91、血管障害238、頭部外傷の開頭術17



当科は単科としては県内でも最大の手術件数を誇り、若手に積極的に執刀の機会を与えるという方針のもと脳外科医として習得すべき疾患を偏りなく経験できます。連携施設には東京大学医学部附属病院などがあります。



西部

31 埼玉医科大学国際医療センター

脳神経外科専門研修埼玉医科大学
国際医療センタープログラム

研修期間4.5年
募集人数 7名

病床数 127床(脳卒中センター全体+脳脊髄腫瘍科) 医師数 23名 指導医数 10名 外来数 15.1名 入院数 99.1名
検査数 脳腫瘍154、脳動脈瘤手術300、高血圧性脳出血84、急性頭部外傷45、慢性硬膜下血腫111



当科は専門的な3診療科に分かれています。脳脊髄腫瘍科は脳腫瘍を診療し、脳卒中外科は脳血管障害に開頭手術でアプローチし、脳血管内治療科はカテーテル手術に特化しています。連携、関連施設も充実しています。

放射線科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

放射線科専門研修基幹施設 2施設

放射線科医師数 25人

放射線科指導医数 20人



さいたま

13 自治医科大学附属さいたま医療センター

自治医科大学附属さいたま
医療センター

研修期間 3年
募集人数 3名

サブスペ 放射線診断 放射線治療

病床数 — 医師数 7名 指導医数 11名 読影数 120件(1日平均) 入院数 —



慢性疾患から3次救急まで豊富な症例を経験できます。画像診断・治療・IVRのバランスの良い研修が特徴で、専攻医必須要項を期間内に到達できるよう配慮し、専攻医ごとにきめ細かいカリキュラムを作成しています。



西部

31 埼玉医科大学国際医療センター

埼玉医科大学放射線科専門
研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 12名

サブスペ 放射線診断 放射線治療

病床数 — 医師数 18名 指導医数 9名 当科読影数 172件(1日平均) 当科治療のべ人数 108名(1日平均)



埼玉医科大学3病院を中心に多くの地域基幹病院や専門病院から研修先を選べます。全国でも有数の規模で放射線科各専門領域の指導医が質量ともに充実しており、専攻実績も多く、希望により柔軟な専門研修が可能です。

麻酔科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

麻酔科専門研修基幹施設 13施設

麻酔科医師数 202人

麻酔科指導医数 80人

麻酔科総病床数 11床 (ICU)



南部

3 川口市立医療センター

川口市立医療センター麻酔科専門研修プログラム

研修期間 4年
募集人数 2名

サブスペ 集中治療 心臓血管麻酔 ベイクリニック

病床数 1床 医師数 7名 指導医数 3名 外来数 6.4名 入院数 —



無理なく麻酔経験が積めるよう十分な症例を確保しており、関連領域の指導も整えています。麻酔科専門研修と同時に地域医療への貢献が可能となるよう配慮されています。

- 内科
- 小児科
- 皮膚科
- 精神科
- 外科
- 整形外科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 泌尿器科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 病理
- 臨床検査
- 救急科
- 形成外科
- リハビリ
- 総合診療科



南部

4 戸田中央総合病院

■ 戸田中央総合病院麻酔科専門研修プログラム

サブスベ	集中治療	心臓血管麻酔	ペインクリニック		
病床数	10床(ICU)	医師数	6名	指導医数	4名
外来数	—	入院数	—		

当院は基礎的かつ包括的な麻酔研修を行い、更に集中治療や救急医療、院内RRSの活動等を通して、幅広い領域における全身管理や急変対応を学べます。また他科やコメディカルとの垣根も低くとても働きやすい病院です。

研修期間 4年
募集人数 3名





南西部

5 TMGあさか医療センター

■ TMGあさか医療センター麻酔科専門研修プログラム

サブスベ	集中治療	心臓血管麻酔	ペインクリニック		
病床数	—	医師数	8名	指導医数	4名
外来数	—	入院数	—		

2次救急に対応し、一般症例から重症症例まで幅広く研修可能です。超音波ガイド下神経ブロックの経験が多く積めます。入院サポートセンター（周術期外来）を通して周術期をチーム医療で扱えます。

研修期間 4年
募集人数 1名





南西部

6 国立病院機構埼玉病院

■ 国立病院機構埼玉病院麻酔科専門研修プログラム

サブスベ	集中治療	心臓血管麻酔	ペインクリニック		
病床数	—	医師数	20名	指導医数	9名
外来数	—	入院数	—		

約3,300件の手術症例を麻酔科が担当し、また地域の中核病院としてさらなる手術件数の増加が予想されており、麻酔科専門医取得に必要な症例をバランスよく経験することが可能です。

研修期間 4年
募集人数 2名





東部

10 獨協医科大学埼玉医療センター

■ 獨協医科大学埼玉医療センター麻酔科専門研修プログラム

サブスベ	集中治療	心臓血管麻酔	ペインクリニック		
病床数	—	医師数	24名	指導医数	7名
外来数	27名	入院数	—		

埼玉東部の基幹専門研修病院として、幅広く症例が集まっており、専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例を、指導医とともに早い段階から経験できることが特徴です。

研修期間 4年
募集人数 5名





さいたま

13 自治医科大学附属さいたま医療センター

■ 自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科専門研修プログラム

サブスベ	集中治療	心臓血管麻酔	ペインクリニック		
病床数	—	医師数	28名	指導医数	6名
外来数	16名	入院数	—		

心臓外科手術、呼吸器外科手術が多く、重症患者の麻酔を多数経験可能。独立型ICUを併設し、機械的補助循環を要する重症患者の全身管理等も学べます。小児麻酔、産科麻酔、ペインクリニック、緩和ケアの研修も可能です。

研修期間 4年
募集人数 6名





さいたま

14 さいたま市立病院

■ さいたま市立病院麻酔科専門研修プログラム

サブスベ	集中治療	心臓血管麻酔	ペインクリニック		
病床数	—	医師数	10名	指導医数	5名
外来数	—	入院数	—		

手術内容はあらゆる診療科・部位・年齢にわたっており、偏りなく麻酔研修を行うことができます。特に新生児手術、ハイリスク帝王切開、心臓外科を含む緊急手術、多様な神経ブロックの習得などに優れています。

研修期間 4年
募集人数 2名





さいたま

16 さいたま赤十字病院

■ さいたま赤十字病院麻酔科専門研修プログラム

サブスベ	集中治療	心臓血管麻酔	ペインクリニック		
病床数	—	医師数	13名	指導医数	4名
外来数	20名	入院数	—		

当院は高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター等に指定され、また33の診療科から構成されるため、症例が多く揃います。また小児症例は隣接する埼玉県立小児医療センターで専門的な経験を積むことができます。

研修期間 4年
募集人数 4名





県央

23 上尾中央総合病院

■ AMG麻酔科専門研修プログラム

サブスベ	集中治療	心臓血管麻酔	ペインクリニック		
病床数	—	医師数	12名	指導医数	8名
外来数	—	入院数	—		

年間5,000件以上の麻酔管理件数、高い意識の指導医のもとチーム医療による周辺領域のサポートも充実しています。専門医として基礎となる要素を身につけるために不足ない経験を積むことが可能な環境です。

研修期間 4年
募集人数 2名





県央

24 北里大学メディカルセンター

■ 北里大学メディカルセンター麻酔科専門研修プログラム

サブスベ	集中治療	心臓血管麻酔	ペインクリニック		
病床数	—	医師数	5名	指導医数	4名
外来数	1.6名	入院数	—		

麻酔科専門医を育成することを目的に、地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を学びます。埼玉県内の高次病院と連携しており県内病院の特徴や考え方の違いを学ぶことができます。

研修期間 4年
募集人数 1名



川越比企

27 埼玉医科大学総合医療センター

■ 埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科専門研修プログラム

サブスペ 集中治療 心臓血管麻酔 ペインクリニック

病床数 — 医師数 31名 指導医数 12名 外来数 20名 入院数 —

研修期間 4年
募集人数 10名



十分な手術室麻酔に加えて、麻酔科医が管理するICUや周産期の全身管理が学べる産科麻酔、ペインクリニックといった研修部門があります。また研究活動も積極的に行っていて、麻酔科領域の研修をほぼ網羅できます。

川越比企

29 埼玉医科大学病院

■ 埼玉医科大学病院麻酔科専門研修プログラム

サブスペ 集中治療 心臓血管麻酔 ペインクリニック

病床数 — 医師数 21名 指導医数 8名 外来数 12名 入院数 —

研修期間 4年
募集人数 4名



当プログラムは、埼玉医大病院を責任基幹施設として、多岐な分野にわたり豊富な症例数を有する病院群を形成しています。その目標は、患者様には最良の診療効果、研修者には最良の研修効果を得ることにあります。

西部

31 埼玉医科大学国際医療センター

■ 埼玉医科大学国際医療センター 麻酔科専門研修プログラム

サブスペ 集中治療 心臓血管麻酔 ペインクリニック

病床数 — 医師数 17名 指導医数 6名 外来数 — 入院数 —

研修期間 4年
募集人数 10名

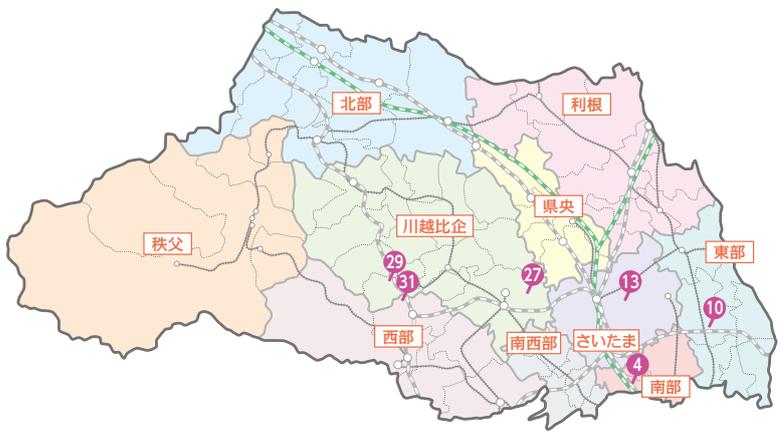


心臓血管麻酔（小児含む）や救急手術などの重症麻酔管理について研修する機会を持つことができます。また、集中治療やペインクリニックは近くの連携病院で研修を行い、個人の興味のある分野の研修を尊重します。

病理

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

病理専門研修基幹施設 6施設
病理医師数 40人
病理指導医数 18人



南部

4 戸田中央総合病院

■ 戸田中央総合病院 病理専門研修プログラム

サブスペ 細胞診

医師数 1名 指導医数 1名

研修期間 3年
募集人数 1名



本専門研修プログラムでは、病理診断に必要な知識、技能の習得はもちろんのこと、他の臨床医や他職種とのコミュニケーションがとれる人間性・態度を身につけることを目標としています。

東部

10 獨協医科大学埼玉医療センター

■ 獨協医科大学埼玉医療センター 病理専門医研修プログラム

サブスペ 細胞診

医師数 5名 指導医数 4名

研修期間 3年
募集人数 1名



基幹施設である獨協医科大学埼玉医療センター病理診断科と近隣の連携施設を主体としたプログラムですが、がん研究会有明病院との連携も始まり、小規模ながら複数の指導医のもとで充実した研修環境を提供します。

さいたま

13 自治医科大学附属さいたま医療センター

■ 地域総合病理医育成を目指した自治医科大学附属さいたま医療センター病理専門研修プログラム

サブスペ 細胞診

医師数 3名 指導医数 2名

研修期間 3年
募集人数 1名



腫瘍診断に留まらず、様々な疾患に対応でき、臨床医と討議しながら診療を進めることができる総合的な病理医を育成する方針のもと、プログラムを作成しています。

川越比企

27 埼玉医科大学総合医療センター

■ 埼玉医科大学総合医療センター 病理専門研修プログラム

サブスペ 細胞診

医師数 15名 指導医数 4名

研修期間 3年
募集人数 2名



充実した指導体制の下、偏りが少なく豊富な症例の病理診断を経験することが可能です。不足の懸念される病理解剖では、専攻医への優先的な割り当てや連携施設の協力により、十分な症例数を確保しています。

29 埼玉医科大学病院 ■ 埼玉医科大学病院病理専門研修プログラム

サブスペ **細胞診**

医師数 6名 指導医数 4名

研修期間 3年 募集人数 1名

包括的がんセンターを擁する埼玉医科大学国際医療センターなど組織診断が年間約1万件の大規模病院と複数連携しており、各地域の中核病院等とも連携することで豊富な症例を経験できる環境が整っています。



31 埼玉医科大学国際医療センター ■ 埼玉医科大学国際医療センター病理専門研修プログラム

サブスペ **細胞診**

医師数 10名 指導医数 3名

研修期間 3年 募集人数 1名

国際医療センター病理診断科には、大学病理学教室も含めて各領域・臓器のスペシャリストが揃っており、病理診断における日常のハイレベルな討論の中で多岐にわたる疾患を経験し、その理解を深めることが可能です。



臨床検査

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

臨床検査専門研修基幹施設 2施設
臨床検査医師数 6人
臨床検査指導医数 3人



10 獨協医科大学埼玉医療センター ■ 獨協医科大学埼玉医療センター臨床検査専門医養成プログラム

サブスペ **感染症** 超音波 臨床遺伝 人間ドッグ健診 臨床細胞 臨床神経生理 消化器内視鏡

医師数 3名 指導医数 1名

研修期間 3年 募集人数 1名

検査部は通常診療を行いませんが、当科は感染症診療・検査を行っています。マラリアなど熱帯病検査に充実しており、渡航外来・帰国外来・HIV検査・ICT・AST活動も行っています。感染症専門医の習得も可能です。



29 埼玉医科大学病院 ■ 臨床検査専門研修プログラム

サブスペ **感染症** 超音波 臨床遺伝 人間ドッグ健診 臨床細胞 臨床神経生理 消化器内視鏡

医師数 3名 指導医数 2名

研修期間 3年 募集人数 1名

検査には様々な分野があります。すでに専門領域を持っている医師にとっても、その領域を中心として多様な検査を習得し、医師としての幅を広げるのに役立つと考えます。



救急科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

救急科専門研修基幹施設 8施設
救急科医師数 104人
救急科指導医数 44人
救急科総病床数 317床



3 川口市立医療センター ■ 川口市立医療センター救急科専門研修プログラム

サブスペ **集中治療** 熱傷 **外傷** 脳卒中 消化器内視鏡 脳神経血管内治療 感染症

病床数 46床 医師数 7名 指導医数 3名 外来数 12名 入院数 39名

研修期間 3年 募集人数 2名

人口80万人を擁する埼玉県南部保健医療圏の救命救急センターとして、地域の重症患者を集約しています。年間1,000例程度の3次救急患者を経験でき、特に重症外傷症例を多く経験できます。



10 獨協医科大学埼玉医療センター ■ 獨協医科大学埼玉医療センター救急科専門医養成プログラム

研修期間 3年
募集人数 4名

サブスペ 集中治療 熱傷 外傷 脳卒中 消化器内視鏡 脳神経血管内治療 感染症

病床数 34床 医師数 10名 指導医数 3名 外来数 4名 入院数 3名

地域のニーズに合わせて、良質で安心できる標準的救急医療が提供できる専門医育成を目指しています。2次、3次救急医療の対応に加え、個々が希望するサブスペシャリティ領域のトレーニングも実践できます。



13 自治医科大学附属さいたま医療センター ■ 自治医科大学附属さいたま医療センター救急科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 4名

サブスペ 集中治療 熱傷 外傷 脳卒中 消化器内視鏡 脳神経血管内治療 感染症

病床数 35床 医師数 11名 指導医数 7名 外来数 23名 入院数 23名

walk-inから重症の3次救急まですべての症例の経験とその後の病棟での管理を学べます。症例の振り返り、レクチャー、世界最新の情報をスタッフが事細かに情報提供します。ドクターカーにも挑戦してください。



16 さいたま赤十字病院 ■ さいたま赤十字病院救急科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 4名

サブスペ 集中治療 熱傷 外傷 脳卒中 消化器内視鏡 脳神経血管内治療 感染症

病床数 52床 医師数 24名 指導医数 8名 外来数 16名 入院数 54名

高度救命救急センターや基幹災害拠点病院等に指定され、365日24時間運用のドクターカー診療をしているため、必要症例が多く揃います。専攻医は毎年入職しており、指導医もベテランから若手が在籍しています。



27 埼玉医科大学総合医療センター ■ 埼玉医科大学総合医療センター救急科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 6名

サブスペ 集中治療 熱傷 外傷 脳卒中 消化器内視鏡 脳神経血管内治療 感染症

病床数 88床 医師数 27名 指導医数 13名 外来数 60.5名 入院数 53.4名

当院の救急医療は救急科（ER）と高度救命救急センターが担っており、初療から入院後の手術も含めた治療、術後管理、患者管理、後方病床診療、退院・退院後までの一連の経過をみることができます。



29 埼玉医科大学病院 ■ 救急科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 1名

サブスペ 集中治療 熱傷 外傷 脳卒中 消化器内視鏡 脳神経血管内治療 感染症 緩和医療

病床数 10床 医師数 4名 指導医数 3名 外来数 5名 入院数 5名

救急センター・中毒センター、集中治療室、一般病棟が備わっており、広域からの急性中毒患者の受け入れ、および緩和医療科との連携によるロコモ患者・フレイル患者を地域医療につなぐ取り組みが大きな特徴です。



31 埼玉医科大学国際医療センター ■ 埼玉医科大学国際医療センター救急科専門医研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 3名

サブスペ 集中治療 熱傷 外傷 脳卒中 消化器内視鏡 脳神経血管内治療 感染症

病床数 52床(ICU12、HCU14、一般26) 医師数 16名 指導医数 5名 外来数 8名 入院数 5名

初期、二次、三次救急の初期診療から緊急処置、手術、集中治療、リハビリテーションおよび退院後の外来診療まで一貫して研修できます。また、ドクターカー運用も実施しており、病院前救急診療も研修可能です。



37 深谷赤十字病院 ■ 深谷赤十字病院救急科専門医修練プログラム

研修期間 3年
募集人数 2名

サブスペ 集中治療 熱傷 外傷 脳卒中 消化器内視鏡 脳神経血管内治療 感染症

病床数 — 医師数 5名 指導医数 2名 外来数 6名 入院数 22名

埼玉県北部に位置し、27の診療科を要し、三次救急病院です。救急では、内因性（循環器系・中枢神経系・消化器系が多い）・小児救急・外因性（多発外傷・中毒・動物刺咬が多い）の全てに対応しています。




内科
小児科
皮膚科
精神科
外科
整形外科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
脳神経外科
放射線科
麻酔科
病理
臨床検査
救急科
形成外科
リハビリ
総合診療科

形成外科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

形成外科専門研修基幹施設 3施設

形成外科医師数 30人

形成外科指導医数 9人

形成外科総病床数 70床





さいたま

22 埼玉メディカルセンター

■ 埼玉メディカルセンター 形成外科研修プログラム

サブスペ: 手外科, 熱傷, 美容外科

病床数 4床 | 医師数 3名 | 指導医数 2名 | 外来数 32.8名 | 入院数 9.8名

一般的な疾患の他、乳房再建手術や重症下肢虚血などの慢性創傷、腫瘍切除、眼瞼下垂、レーザー治療などの症例を経験でき、連携施設では小児形成外科全般、頭頸部再建術、リンパ浮腫なども学ぶことができます。

研修期間 4年
募集人数 3名





川越比企

27 埼玉医科大学総合医療センター

■ 埼玉医科大学総合医療センター 形成外科専門研修プログラム

サブスペ: 手外科, 熱傷, 美容外科

病床数 20床 | 医師数 11名 | 指導医数 3名 | 外来数 30.5名 | 入院数 19.2名

当センターは高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターを附属する基幹病院であり、外傷、先天奇形、乳房再建、リンパ浮腫に対する手術をはじめ、18の施設と連携し、幅広い疾患が経験可能です。

研修期間 4年
募集人数 4名





川越比企

29 埼玉医科大学病院

■ 形成外科専門研修プログラム

サブスペ: 手外科, 熱傷, 美容外科

病床数 46床 | 医師数 16名 | 指導医数 4名 | 外来数 24名 | 入院数 52名

関東圏の大学病院・一般病院と連携しており、創傷外科、頭蓋顎顔面外科、皮膚腫瘍外科、小児形成外科、マイクロ再建外科等多様な症例を経験することが可能です。

研修期間 4年
募集人数 4名



リハビリテーション科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

リハビリテーション科専門研修基幹施設 3施設

リハビリテーション科医師数 9人

リハビリテーション科指導医数 5人





南西部

6 国立病院機構埼玉病院

■ 国立病院機構埼玉病院リハビリテーション科プログラム

病床数 — | 医師数 5名 | 指導医数 2名 | 外来数 — | 入院数 —

検査数 年間件数：脳血管49,426、運動器23,681、がん9,952、その他・嚥下造影406

地域の基幹的急性期病院である当院を基幹とし、多数の特色ある関連研修施設がプログラムに含まれています。様々な疾患や病態の急性期から生活期までのすべての時期を網羅し、幅広い研修を行うことが可能です。

研修期間 3年
募集人数 4名





東部

10 獨協医科大学埼玉医療センター

■ 埼玉東部地域リハビリテーション専門研修プログラム

病床数 — | 医師数 1名 | 指導医数 1名 | 外来数 3名 | 入院数 —

検査数 運動器：19,994件/年、脳血管（小児言語含む）：44,825件/年 他

県内にリハビリテーション専門医を増やすために「埼玉、千葉、東京」の協力環境を整備し、東京医歯大病院や埼玉医大病院群、近隣（当院から1時間以内）回復期施設、小児専門施設、地域の中核病院が入っています。

研修期間 3年
募集人数 4名





29 埼玉医科大学病院

■ 埼玉医科大学リハビリテーション科専門医プログラム

研修期間 2年
募集人数 3名

病床数	—	医師数	3名	指導医数	2名	外来数	41名	入院数	9名
検査数	がんリハビリ 7,392件、運動器 52,666件、呼吸器 21,727件、脳疾患 55,994件、廃用 2,062件								

急性期リハビリテーション病院での研修と回復期リハビリテーション病院での研修、そして重度心身障害児施設での研修など、各診療科と連携して多くの分野での研修が可能です。



総合診療科

※掲載しているデータは2020年7月に集計したものです

総合診療科専門研修基幹施設 17施設

総合診療科医師数 132人

総合診療科指導医数 53人

総合診療科総病床数 896床



2 埼玉協同病院

■ さいたま総合診療医・家庭医センター 埼玉協同病院 総合診療医プログラム

研修期間 3年
募集人数 2名

病床数	96床	医師数	8名	指導医数	2名	外来数	—	入院数	—
検査数	急性期、緩和ケア、訪問診療など幅広く対応。救急車取扱件数4,008件。								

本研修プログラムは、医療生協の理念をもとに地域組合員とともに歩み、地域の健康の増進に貢献し、自ら目標を持ち学び続ける総合診療医を養成することを目指します。



6 国立病院機構埼玉病院

■ 国立病院機構埼玉病院総合診療科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 2名

病床数	25床	医師数	2名	指導医数	2名	外来数	31.6名	入院数	16.7名
検査数	肺炎149、消化器疾患94、感染症55、糖尿病37、その他325								

当院総合診療科は埼玉県と東京都の境の来院患者数が多い初診外来を担当し、様々な症例を経験します。日々の症例カンファレンス、論文抄読他、多数の教育的機会を設けつつ、専攻医の自発的な研鑽をサポートします。



10 獨協医科大学埼玉医療センター

■ 獨協医科大学埼玉医療センター 総合診療専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 3名

病床数	—	医師数	6名	指導医数	3名	外来数	22名	入院数	—
検査数	年間新患者数：610名、年間再診患者数：5,572名								

プライマリ・ケアや総合診療の修練を通して、幅広い対応力を身につけます。在宅医療や漢方診療も実践しております。



11 みさと健和病院

■ みさと健和病院総合診療科専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 2名

病床数	47床	医師数	4名	指導医数	2名	外来数	42.8名	入院数	4.3名
検査数	初診外来件数15,634件、救急車搬入数2,006件、外科手術617件、整形手術371件/年								

基幹施設であるみさと健和病院で総診Ⅱ・内科・救急領域の研修を行い、同一法人の柳原病院で総診Ⅰの研修を行います。また、総合診療領域のサブスペシャルティ領域の家庭医療専門研修との連動研修も行っています。



13 自治医科大学附属さいたま医療センター

■ 自治医科大学附属さいたま医療センター 総合診療専門研修プログラム

研修期間 3~4年
募集人数 若干名

病床数	19床	医師数	11名	指導医数	6名	外来数	24名	入院数	18名
検査数	患者数：初診573名、再診2,646名、協診151名、入院345名								

連携医療機関を都市部と医療資源に恵まれた地域でバランス良く配置しており、それぞれの医療機関の特色を生かしながら研修できます。



15 彩の国東大宮メディカルセンター

■ 彩の国東大宮メディカルセンター 総合診療専門研修プログラム

研修期間 3年
募集人数 2名

病床数	27床	医師数	5名	指導医数	2名	外来数	31.5名	入院数	26.2名
検査数	救急搬送件数 年間約6,500件、急性期から緩和ケアまで幅広く対応								

病院、診療所などで活躍する高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医を養成するために、ER型救急や急性期専門各科を有する地域の中核病院のなかで、専門各科と協働し、地域医療に携わる実力を身につけます。



- 内科
- 小児科
- 皮膚科
- 精神科
- 外科
- 整形外科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 泌尿器科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 病理
- 臨床検査
- 救急科
- 形成外科
- リハビリ
- 総合診療科

さいたま

19 さいたま北部医療センター

■ JCHOさいたま北部総合診療専門医研修プログラム

病床数	58床	医師数	8名	指導医数	2名	外来数	188.6名	入院数	44.1名
検査数	在宅訪問診療患者数13人(2020年4月現在)、新患者数32.0人/日								

救急診療から入院治療まで幅広い医療に加え、地域包括ケア病棟を持ち訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所を併設し、訪問診療をはじめとする在宅医療にも積極的に取り組んでおり、地域に根差した総合診療が学べます。

研修期間 3年
募集人数 1名



さいたま

20 さいたま市民医療センター

■ さいたま市民医療センター総合診療専門医研修プログラム

病床数	141床	医師数	30名	指導医数	10名	外来数	163.6名	入院数	120.4名
検査数	GF: 2,043件、CF: 2,226件、血管造影: 791件、心臓エコー: 2,618件								

日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療後期研修プログラムVer2を有しており、首都圏の政令指定都市で救急総合診療科を中心に、へき地医療、在宅医療などを学び、修了後には総合診療専門医の受験資格が与えられます。

研修期間 3年
募集人数 若干名



県央

23 上尾中央総合病院

■ AMG上尾中央総合病院総合診療専門医研修プログラム

病床数	67床	医師数	6名	指導医数	2名	外来数	29名	入院数	53名
検査数	年間入院患者: 約1,000人 ICU重症管理から緩和ケアまで対応								

病院などで活躍する高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医を養成し、ER型救急や急性期専門各科を有する地域拠点病院のなかで、自らのキャリアパスや地域医療に携わる実力を身につけていくことを目的としています。

研修期間 3年
募集人数 2名



川越比企

28 関越病院

■ 関越病院 総合診療専門医 育成プログラム

病床数	97床	医師数	11名	指導医数	2名	外来数	179.4名	入院数	8名
検査数	周辺地域を中心に在住する患者さんの受入れを昼夜問わずに実施。救急患者数約7,000名/年								

地域医療包括ケアシステム構築に参画できる総合診療医の育成。臓器別診療ではなく幅広い診断が可能な頼れる医師への成長を支援します。

研修期間 3年
募集人数 2名



川越比企

29 埼玉医科大学病院

■ 総合診療専門医研修プログラム

病床数	70床	医師数	22名	指導医数	8名	外来数	81名	入院数	72名
検査数	初診患者数: 3,690名、新入院者数: 1,818名								

特徴として初期診療、特に外来診療、救急診療を中心としたプライマリ・ケアだけでなく鑑別診断、治療戦略を含めた全身管理、病棟診療をもマスターできるプログラムです。熱意ある指導医が多数います。

研修期間 3年
募集人数 6名



西部

30 埼玉石心会病院

■ 埼玉石心会病院総合診療専門医研修プログラム

病床数	44床	医師数	6名	指導医数	3名	外来数	118名	入院数	1,477名
検査数	肺炎、気管支喘息、COPD、尿路感染症、脳梗塞、認知症、糖尿病などの頻度の高い疾患が多い								

臓器にとらわれないジェネラリストの視点とバランス感覚、入院初療から退院まで一貫したマネジメント力、退院後のケアや患者家族の心情まで配慮できる「主治医としての総合力」を養います。

研修期間 3年
募集人数 2名



利根

33 国立病院機構東埼玉病院

■ 国立病院機構東埼玉病院総合診療研修プログラム

病床数	30床	医師数	6名	指導医数	2名	外来数	41.6名	入院数	21.1名
検査数	訪問診療約205件/月								

当科は、外来・在宅・施設・病棟とシームレスな診療を行い、1人の患者さんをさまざまな場で継続的に診療できることが特徴でもあります。患者さんのみならず、地域全体へのアプローチも積極的に行っています。

研修期間 3年
募集人数 2名



利根

34 羽生総合病院

■ 羽生総合病院総合診療専門医研修プログラム

病床数	70床	医師数	2名	指導医数	1名	外来数	13名	入院数	26名
検査数	救急車受入件数: 3,676件/年								

人口対比で病院・診療所・医師数の全てが最も少数の地域であることから、地域中核病院として救急や高度医療の中心であるだけでなく、本来診療所や小規模病院によって担われる訪問診療や外来診療にも注力しています。

研修期間 3年
募集人数 2名



北部

37 深谷赤十字病院

■ 深谷赤十字病院総合診療専門医研修プログラム

病床数	—	医師数	2名	指導医数	2名	外来数	14名	入院数	—
検査数	新外来患者数851名/年、上部・下部内視鏡15~20件/月								

埼玉県北部に位置し、三次救急病院です。27の診療科を要しており、併存疾患の患者への対応も科を超え対応・相談することができます。地域支援病院として病診連携に力を入れて総合的な視点で学ぶことができます。

研修期間 3年
募集人数 1名





北部

38 熊谷生協病院

さいたま総合診療医・家庭医センター
熊谷生協病院 総合診療医プログラム研修期間 3年
募集人数 2名

病床数	105床	医師数	3名	指導医数	2名	外来数	95.6名	入院数	86名
検査数	年間症例数：肺炎(100) UTI(50) 年間検査数：GIF(1,000) CT(500)								



小児から高齢者まで幅広い診療を経験できます。在宅医療に力を入れており、180人程の施設・在宅患者様に看取りまでの継続したケアを提供しています。医療ケア児に対する訪問診療も行っております。



秩父

39 秩父市立病院

総合診療専門医養成プログラム「ちちぶ」

研修期間 3年
募集人数 2名

病床数	—	医師数	—	指導医数	2名	外来数	12名	入院数	1名
検査数	急性期から地域包括ケアまで幅広く扱い、二次救急輪番制病院として救急医療の提供を行っている。								



秩父医療圏内の複数の病院・診療所をローテーションしながら一貫した専門研修を受けることができ、それぞれの立場からの多角的な視点を身につけ、より幅広い視野での地域医療の実践能力を獲得することができます。

県では女性医師を支援しています！

埼玉県女性医師支援センター



就業や復職に関する相談、育児や介護支援の情報提供など女性医師の相談・支援窓口として、「埼玉県女性医師支援センター」を運営しております。

ご相談の内容やご希望に応じて、子育て経験のある現役の女性医師が、Eメールや電話などでお答えします。お気軽にご連絡ください。

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町3-5-1 埼玉県県民健康センター5階(埼玉県医師会内)
電話 048-815-7115 AM9:00~PM5:00 (月曜日から金曜日)
※土日、祝日、年末年始を除く
メール info@saitama-joi.jp



内科

小児科

皮膚科

精神科

外科

整形外科

産婦人科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

脳神経外科

放射線科

麻酔科

病理

臨床検査

救急科

形成外科

リハビリ

総合診療科

2013年12月に創設された埼玉県総合医局機構は、「医師の確保・派遣」と「医師の支援」を二本柱として、県医師会や県内の医療機関等と一体となって総合的な取組を行うことにより県内全域の医療水準の向上を目指しています。

産科、小児科、救急医療に係る後期研修を受講している研修医の皆さんを支援！

後期研修医研修資金貸与事業

産科、小児科、救急医療に係る
後期研修を受講している方へ資金を貸与



埼玉県の病院で
医師として勤務



貸与された資金の
返還が免除!!

後期研修医研修資金	
対象者	埼玉県内の周産期母子医療センターまたは救命救急センターにおいて、産科、小児科または救急医療に係る後期研修を受講している後期研修医
貸与金額	月額20万円以内
貸与期間	3年以内
返還免除条件	埼玉県内の病院の産科、小児科または救命救急センターで貸与期間の1.5倍勤務すること

海外留学を行う医師の皆さんを支援！

トッランナー医師育成留学支援事業補助金

産科、小児科、救急、総合診療等の診療科
における留学を行う方へ補助金を交付



海外の病院で臨床または
臨床に関する研修の実施



埼玉県の病院で
医師として勤務

トッランナー医師育成留学支援事業補助金	
対象者	以下の全ての条件を満たす医師 ①臨床研修病院または専門研修基幹施設に勤務する者 ②専門医資格取得者 ③県内の地域医療に貢献する意欲のある者 ④留学後、埼玉県内の医療機関で勤務できる者
補助金額	最大1年・300万円

県内の医師のスキルアップをサポート！

地域医療教育センター

地域医療教育センターは、県内医療機関に勤務されている医療従事者の方向けの教育・研修施設（利用料は原則無料）です。各種シミュレータを用い、実際の病室を模した仮想病室や診察室で、実際の診療さながらの研修を行うことができます。また、カンファレンス室やディブリーフィング室も完備し、幅広い教育・研修ニーズにお応えします。

【センターを利用した研修の例】

基本的な医療手技の習得



吸引、採血、縫合といった基本的な医療手技の練習が可能です。

また超音波診断、呼吸音聴取、フィジカルアセスメントなどの身体診療のトレーニング用シミュレータも整備しています。



高規格シミュレータを使った救命・蘇生トレーニング



さまざまな状況を再現できるシミュレータを用い、リアリティのあるトレーニングを積むことができます。

乳児、小児、成人のほか分娩介助用の高規格シミュレータを用意しています。



埼玉県専門研修プログラムガイドブック 2021

■編集・発行 2020年8月発行
埼玉県 保健医療部医療人材課 医師確保対策担当（地域医療教育センター）
〒330-8777 さいたま市中央区新都心1-2 県立小児医療センター南玄関8階
TEL：048(601)4600 FAX：048(601)4604 Email：a3560-03@pref.saitama.lg.jp
ホームページ：http://kobaton-med.jp/

コバトンドットメド 検索

